



Dr.WARI の総合診療 Skill-Up 講座

2022年1月6日～2月4日

参加者：各務萌、高島農伍、後藤謙太

『サピエンス全史（上、下）』（ユヴァル・ノア・ハラリ）を読んでみた。人類250万年を辿った歴史書である。現在、地球上のあらゆる生き物の中で、人類が最も力を持ったのはなぜなのか？ 仮説（認知革命、農業革命、科学革命の3つより成り立つという）を提唱し、世界で1200万部のベストセラーになった。世界のリーダー的な人たちが注目している。マイクロソフトのビル・ゲイツやメタのマーク・ザッカーバーグ、等。

サピエンスは環境を征服し、食物の生産量を増やし、都市を築き、帝国を打ち立て、広大な交易ネットワークを作り上げたが、世の中の苦しみの量を減らしていない。個々の幸福は必ずしも増進しなかったし、他の動物たちにはたいてい甚大な災禍を招いた、という結論となっている。

読み進めよう。現在生きている人類は、15万年前に生まれた「ホモ・サピエンス」たったの1種類。ホモ・サピエンスよりもネアンデルタール人のほうが、脳が大きく、力もあった。生き残りの原因は7万年前にホモ・サピエンスに起きた「認知革命」である。その後の「農業革命」と「科学革命」が起きたことが大きい、それは認知革命があつてのことである。

では、「認知革命」とは、「現実には存在しないフィクションを信じ、語ることでできる能力」が人類の繁栄に決定的だった。このフィクションを信じる力によって、人類は多くの方が協力できるようになった。そして、神話を作ることで、百人よりはるかに多くの面識のない人が、同じ神話を信じ、協力することができるようになった。そして、このフィクションは、すぐに別のフィクションに入れ替えることができる。それは進化よりはるかに早く、ホモ・エレクトスは、200万年の間同じ石器を使っていたが、ホモ・サピエンスは、次々と新しい神話やイデオロギーを生み出して、急激な発展を遂げることができるようになった。こうして、7万年前にこの認知革命が起きてから、ホモ・サピエンスはアフリカを出て、急速に世界中に広がってゆく。そしてなぜか他の人類は次々と絶滅し、ホモ・サピエンスだけが残った。

それまで250万年の間狩猟採集生活をしていた人類が、約1万年前に農業を始めた。小麦や稲、トウモロコシを作り、ブタや馬などの家畜を使うようになって、安定した豊かな生活ができるようになり、人類は躍進したというのがこれまでの見方である。しかし、本書では、コメやトウモロコシに人類が「飼いならされてしまった」と結論づけている。食糧は増えて、人口は急速に増えたものの、個人の生活は狩猟採集生活よりも困難で、労働時間は長くなり、貧富の差を生んだ。そして大きな苦しみを抱えてしまった。この視点がユニークである。

こうして、人口がどんどん増えて紀元前 3000 年には、巨大な帝国ができた。その帝国を支えたのが、認知革命「フィクションを信じる力」である。文字の発明によって他者と協力する体制を作ってゆく。共通の神話を信じ、そして階級差別、男尊女卑も生まれた。フィクションの中で大きな 3 つが、国と宗教とお金である。特に最強なのがお金だ。お金によって、物々交換よりもはるかに便利になり、世界中のまったく見ず知らずの人と協力して何かを成し遂げることができるようになった。

その後、人間が史上空前の発展を遂げたのは、西暦 1500 年頃から始まった科学革命によってである。それからわずか 500 年で、人口は 14 倍、生産量は 240 倍、エネルギー消費量は 115 倍に増えた。宗教よりも科学に答えを探求し始める。そして帝国は科学に投資するようになり、科学は帝国主義が結びついて成長するようになる。さらに資本主義が科学と帝国の躍進を支える。それまでは実物のお金しか使わなかったが、信用というお金（電子マネー、クレジットカード）が生まれた。科学革命で、未来は過去よりもよくなると信じられるようになり、信用が流通するようになった。商売で得た利益を生産に再投資すれば、商売はみんなを裕福にするというアダムスミスの理論をもとに、金持ちから資本を集めて事業を興す株式会社が設立された。さらに、200 年程前に産業革命が起こり、エネルギーを変換する方法（蒸気機関）が見つかった。次々に石油や電気が発明され、エネルギーの供給源となった。こうして飛躍的に伸びた生産量を支えるのが、欲望を刺激する消費主義である。資本主義と消費主義が表裏一体となって、人類は経済発展を続けている。ここで著者は問う。現代の資本主義の中で、人類は狩猟採集生活時代よりも幸せになってののかと。今後、人類はどこへ向かうのか？著者は最終章で答えを匂わせている。

この書に関して、丸川哲史氏（東アジア現代思想史が専門）が異論を述べている。戦争・飢餓。病気を克服した人間が AI 技術の伸長によって直面せざるをえない人間存在の意義を考察しているが、ガザ地区に大量兵器を打ち込み、同時にワクチンの大規模高速度接種を実現したイスラエル国家こそが極端に進んだ怪物的モデルなのであり、そこを素通りしたハラリ氏の立論は白々しい空気をもたらす、としている。1000 年以上も迫害を受け、大量虐殺を受けた民族が、今は管理国家となって迫害する側に回っている。そのような国家に所属していることをもってして、彼の論点を簡単に否定はできないのではないか。

介護や医療の分野で AI・デジタルが欠かせない存在になりつつある。ハラリ氏の未来予想は、ホモ・サピエンスの遺伝子変化ではなく、サイボーグ化とみている。

コロナ禍の中で、潜在していた諸問題が顕在化してきている。若くはない私にも日々の業務に埋没せず、世界をより良い方に変える行動が求められる（現代の若者たちの思想・行動を分析した『ジェネレーション・レフト』が参考になる）。

症例	病名/内容	開催日
レクチャー 1	Opening Statement	1月11日 1月17日
レクチャー2	Semantic Qualifier	1月11日 1月17日
レクチャー3	VINDICATE-P	1月11日 1月17日
レクチャー4	オッカムの剃刀、ヒッカムの格言、サットンの方則	1月11日 1月17日
症例 1	大動脈弁狭窄症	1月11日 1月17日
症例 2	結節性多発動脈炎	1月11日 1月17日
症例 3	Cushing 症候群	1月11日 1月17日
症例 4	感染性心内膜炎	1月11日 1月17日
症例 5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1月11日 1月17日
レクチャー5	全身性血管炎	1月11日
レクチャー6	Cushing 症候群	1月11日
レクチャー7	やせた患者の浮腫	1月7日
症例 6	海綿静脈洞血栓症	1月7日

症例 8	たこつぼ心筋症	1月7日
症例 9	石灰沈着性頸長筋腱炎	1月7日
症例 10	上大静脈症候群	1月7日
症例 11	sarcoidosis	1月7日
症例 12	Diabetes insipidus as a result of secondary metastases	1月7日
レクチャー 8	心不全の最新治療	1月11日
レクチャー9	フレイル患者の浮腫	1月12日
レクチャー10	重症発熱患者の浮腫	1月12日
レクチャー11	がん患者の浮腫	1月12日
症例 13	偽痛風	1月12日
症例 14	単純ヘルペス脳炎	1月12日
症例 15	巨細胞性動脈炎	1月12日
症例 16	消化管アニサキス症によるアナフィラキシー	1月12日
症例 17	IgA nephropathy	1月12日

症例 18	Carcinoma of the stonach	1月12日
レクチャー12	糖尿病治療の変遷	1月12日
レクチャー13	ばち指	1月13日
レクチャー14	手の皮がむける	1月13日
症例 19	ばち指	1月13日
症例 20	Small bowel bacterial growth	1月13日
症例 21	AIDS 関連カンジダ食道炎	1月13日
症例 22	高安動脈炎	1月13日
症例 23	Grand mal seizure	1月13日
症例 24	Creutzfeld -Jacob disease	1月13日
レクチャー15	Palpable purpura	1月14日
レクチャー16	多形滲出性紅斑	1月14日
症例 25	Ulcerative colitis	1月14日
症例 26	Stevens-Johnson syndrome	1月14日

症例 27	腹腔動脈解離	1月14日
症例 28	高カリウム血症に伴う徐脈	1月14日
症例 29	咽頭梅毒	1月14日
症例 30	抗 TIF 1 - γ 抗体陽性皮膚筋炎	1月14日
レクチャー17	手足の皮疹	1月18日
レクチャー18	全身の痛み	1月18日
症例 31	Carcinoma of the pancreas	1月18日
症例 32	Dissociative disorder	1月18日
症例 33	Toxic shock 症候群	1月18日
症例 34	Vibrio vulnificus 感染症	1月18日
症例 35	クローン病	1月18日
症例 36	CADM を合併した間質性肺疾患	1月18日
レクチャー19	Is this patient having a AMI?	1月18日
レクチャー20	薬が原因の失神	1月19日

レクチャー21	右下腹部痛	1月19日
症例 37	Carcinoma of the pancreas	1月19日
症例 38	Dissociative disorder	1月19日
症例 39	アスピリン喘息	1月19日
症例 40	甲状腺機能低下症	1月19日
症例 41	AIDS 関連ニューモシチス肺炎	1月19日
症例 42	夏型過敏性肺炎	1月19日
レクチャー22	腹痛	1月19日
レクチャー23	多発神経炎	1月20日
レクチャー24	吃逆	1月20日
症例 43	Addisnian crisis	1月20日
症例 44	Acute pyelonephritis in an obstructed urinary tract	1月20日
症例 45	肺塞栓症	1月20日
症例 46	脾臓摘出後敗血症	1月20日

症例 47	大動脈解離	1月20日
症例 48	SAPHO症候群	1月20日
レクチャー26	心房細動の原因疾患	1月21日
レクチャー27	輸入感染症	1月21日
症例 49	pneumothorax	1月21日
症例 50	Acute confusional state	1月21日
症例 51	亜急性甲状腺炎	1月21日
症例 52	椎骨動脈解離	1月21日
症例 53	胸骨症候群	1月21日
症例 54	感染性心内膜炎	1月21日
レクチャー28	医療と社会	1月24日
レクチャー29	好酸球増加	1月25日
レクチャー30	徐脈+ショック	1月25日
症例 55	Carbon monoxide poisoning	1月25日

症例 56	Bacterial meningitis	1月25日
症例 57	心房細動による腎梗塞	1月25日
症例 58	バセドウ病に伴う周期性四肢麻痺	1月25日
症例 59	憩室炎	1月25日
症例 60	カンビナイド嘔吐症候群	1月25日
レクチャー31	肺梗塞	1月25日
レクチャー32	脳梗塞もどき	1月26日
レクチャー32	頻呼吸	1月26日
症例 61	HIV	1月26日
症例 62	Diuretics-induced hyponatremia	1月26日
症例 63	Wernicke 脳症	1月26日
症例 64	ACTH 単独欠損症	1月26日
症例 65	悪性腫瘍に伴う後腹膜繊維症	1月26日
症例 66	腹腔動脈解離	1月26日

レクチャー33	咽頭痛	1月26日
学生振り返り	大学ではなかなかできない診察手技を体験できた 10日間	1月26日
レクチャー34	糖尿病性ケトアシドーシスの誘因	1月27日
レクチャー35	高カリウム血症の原因	1月27日
症例 67	DVT	1月27日
症例 68	Peptic ulcer	1月27日
症例 69	Burgada 症候群	1月27日
症例 70	C D 関連下痢	1月27日
症例 71	鼠経リンパ肉芽腫症	1月27日
症例 72	ビタミンD 欠乏による骨軟化症	1月27日
レクチャー36	意識障害	1月27日
研修医振り返り	大雪と鹿に遭遇し、コロナ禍での充実した研修ができた 1か月間	1月27日
レクチャー37	続発性骨粗しょう症	1月28日
レクチャー38	突然の視力喪失	1月28日

症例 73	PMR	1月28日
症例 74	TIA	1月28日
症例 75	副腎不全	1月28日
症例 76	Non-episodic angioedema with eosinophilia	1月28日
症例 77	運動麻痺を伴う帯状疱疹	1月28日
症例 78	化膿性関節炎	1月28日
マンガ精読	「リウーを待ちながら(1)(2)(3)」(ペスト)	1月28日
レクチャー39	食欲があるのに体重減少	2月1日
レクチャー40	若い女性の浮腫	2月1日
症例 79	きのこ中毒	2月1日
症例 80	コリン作動性クリーゼ	2月1日
症例 81	Lambert-Taton 筋無力症候群	2月1日
症例 82	膀胱拡張に伴う腸骨静脈圧迫症候群	2月1日
症例 83	Mallory-Weiss syndrome	2月1日

症例 84	Graves' disease	2月1日
レクチャー41	Bad news の告知	2月1日
レクチャー42	金曜日夜の往診依頼	2月1日
レクチャー43	発熱+リンパ節腫脹	2月2日
レクチャー44	咽頭痛後の関節痛	2月2日
症例 85	Guilain-Barre syndrome	2月2日
症例 86	Postural hypotension	2月2日
症例 87	脊椎カリエス	2月2日
症例 88	鉛中毒	2月2日
症例 89	巨細胞性動脈炎	2月2日
症例 90	IgG4 関連疾患	2月2日
レクチャー45	Coeliac disease	2月2日
レクチャー46	Ectopic pregnancy	2月2日
レクチャー47	全身性リンパ節腫脹	2月3日

レクチャー48	早朝頭痛	2月3日
症例 91	Primary biliary cirrhosis	2月3日
症例 92	Hyperglycemic ketoacidosis coma	2月3日
症例 93	急性多関節性痛風	2月3日
症例 94	帯状疱疹	2月3日
症例 95	間欠性関節水腫	2月3日
症例 96	好酸球性筋膜炎	2月3日
研修医振り返り	初期診療から診断・治療・教育まで、地域医療現場に求められる実践を意識して行った4週間	2月3日
レクチャー49	長引く咳	2月4日
レクチャー50	繰り返す口内潰瘍	2月4日
症例 97	感染性心内膜炎	2月4日
症例 98	急性腎盂腎炎	2月4日
症例 99	デング熱+百日咳	2月4日
症例 100	抗NMDA受容体抗体陽性脳炎	2月4日

症例 101	measles	2月4日
症例 102	Acute hepatitis secondary to khat consumption	2月4日